

**製品名: PPP1CA+1CB ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe83703**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.38mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 38,37 kDa ; Observed MW: 37 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PPP1CA+1CB
別名	PP-1A; PP-1B; PP1A; PP1alpha; PP1B; PP1beta; PPP1A; PPP1CD;PPP1A/B
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P62136/P62140
免疫原	ヒト PPP1A 由来の合成ペプチド

**背景**

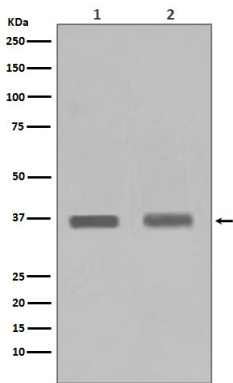
200種類以上の調節タンパク質と会合して、数百もの生物学的標的を脱リン酸化するための高度に特異的なホロ酵素を形成するタン

パク質ホスファターゼ。タンパク質ホスファターゼ 1 (PP1) は細胞分裂に必須であり、グリコーゲン代謝、筋収縮、タンパク質合成の調節に関与する。イオンコンダクタンスと長期的なシナプス可塑性の調節にも関与する。

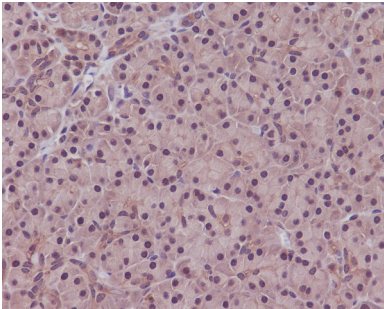
## 研究分野

-

## 画像データ



(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) HeLa 細胞溶解物における PPP1CA + PPP1CB 発現のウェスタンブロット解析。



PPP1CA + PPP1CB 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析。